



# ゴールデンハムスターの飼育方法

ゴールデン・キングマ・ロングヘアーなど

ハムスターは自然界では単独行動で夜行性です。1つのケージで複数飼育は出来ません。ゴールデン系は縄張り意識が高いので絶対に複数飼育はしないようにしましょう。夜行性という事は暗くなると活動を始めるということです。夜中に回し車を回す音などが聞こえることもあります。ハムスターの生態を知ってから飼育するようにしましょう。

## 飼育に必要なもの

### ①飼育ケース



ハムスターケージやガラス水槽  
ハムスターの大きさにあったケージを選びましょう。

### ②床材



広葉樹マットや小動物用チップ、牧草  
広葉樹マットは人や動物の肌に優しくアレルギーや刺激性が少ないのでお勧めします。

### ③巣箱 (ハムスターの寝床)



ハムスターは本来土に穴を掘りその中で過ごします。その為飼育下のハムスターはほとんど巣箱の中で生活しています。快適な巣箱を選んであげましょう。

### ④トイレ



きちんとした飼育環境であればハムスターはおしっこを決まった場所です。床材が汚れにくくなるので設置をお勧めします。

### ⑤砂浴び場



砂浴びはハムスターのお風呂です。(水浴びの習性はありません)砂浴びをすることで病気予防にもなります。専用の砂浴び場と砂があります。

### ⑥エサ



専用ペレットフード必要に応じて野菜  
健康管理の為に専用のフードを与えて下さい。ひまわりの種は主食ではありません!! (与える場合は1日に5粒前後にしましょう。)

### ⑦回し車



運動不足解消、ストレス解消の為ハムスターケージに必ず設置しましょう。ハムスターの体に合ったものを使用して怪我のないように設置しましょう。

### ⑧給水ボトルと餌を入れる食器



いつでも新鮮な水が飲めるように給水ボトルを設置しましょう。餌入れ食器は高さのある物は避けて餌が取りやすい物を選びましょう。

#### ※冷却器具・保温器具※

ハムスターを飼育する上で温度管理は必要です。室温20~25℃位、湿度40~70%位が理想です。ハムスター専用の器具が販売されているので季節に合った対応をしていきましょう。

#### ※かじり木※

ハムスターは一生歯が伸び続けます。日頃のえさ(ペレットフード)で歯は割れていきますがかじり木や牧草を与えることでストレス発散をさせてあげることが出来ます。

## 毎日のお世話

### えさ



1日に1回だいたい決まった時間に餌を与えましょう。(夜行性の為夕方に与えるのが理想です)与える量はハムスターの体重に対して10%が目安になります。ハムスターは食器の餌を全てほお袋に入れて別の場所に吐き戻してから餌を食べるので食器の中に餌が入ってなくても糞糞足す必要はありません。前日の残り餌は捨てて毎日新しい餌を与えましょう。(痛んだ餌が病気を引き起こす可能性があります)

#### ※注意

ひまわりの種など種子類は脂肪分が多く肥満になりやすいので主食にはなりません。おやつとして与えるようにしましょう。



ハムスターに毎日新鮮なお水を与えるためにも毎日お水を交換しましょう。給水ボトルも清潔に保つ為に定期的に洗いましょう。洗剤を使用する時は洗剤が残らないように十分にすすぎましょう。心配な方は熱湯消毒などを行きましょう。

### お水



## 週に1回のお世話

床材、トイレ砂、砂浴びの砂を全部交換しましょう。ハムスター自身の匂いなくなるとハムスターが不安になるので少し古いものを残してから交換しましょう。常に清潔に保つ事が病気予防になり、臭いを防ぐ事につながります。

#### ※月に1回※

ケージやトイレ、砂浴び場を洗いましょう。熱湯消毒や天日干しをするといいです。

床材やトイレ砂、砂浴びの砂などがあまりにも汚れていたらその部分だけでも交換しましょう。毎日清潔なケージを保つ事でハムスターの病気予防になります。またフンやおしこの状態を毎日確認してハムスターの健康状態をチェックすることもできます。



## 飼育のポイント

- ★ケージは人通りの少ない静かで安定した温度変化の少ない場所に置きましょう。
- ★お家に連れて帰ってすぐにハムスターに触るのはやめましょう。まずは環境に慣らす事が大切です。それから徐々に人に慣れさせましょう。
- ★お散歩をさせる場合は1日30分を目安にして下さい。触りすぎ、散歩のさせすぎはストレスになります。
- ★人の食べ物を与えないようにしましょう。健康管理をきちんとする事が飼い主さんの責任です。